

野村ブラックロック世界優良企業厳選ファンド

Aコース（米ドル売り円買い）／ Bコース（為替ヘッジなし）
追加型投信／内外／株式

ファンドの運用状況について

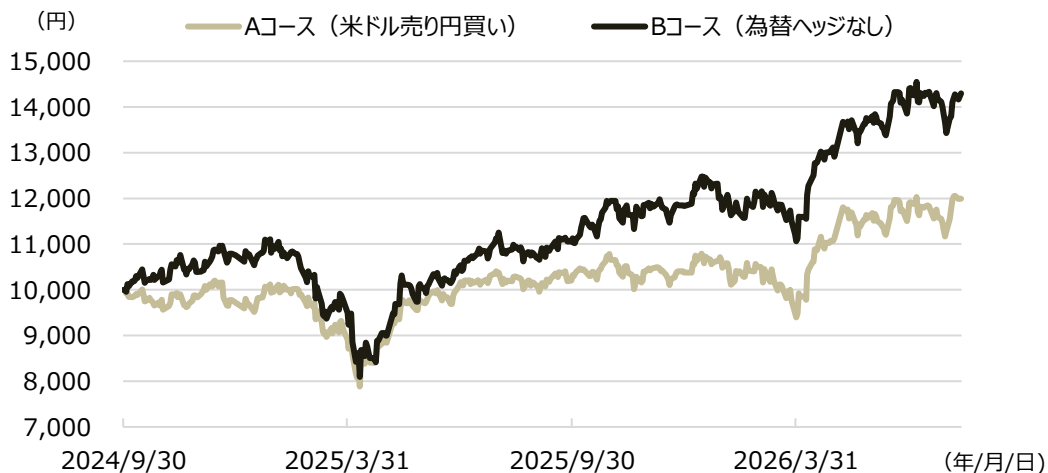
平素より「野村ブラックロック世界優良企業厳選ファンド」（以下、ファンドといいます。）をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。ファンドの運用状況についてご説明いたします。

設定来および足元の運用状況について

ファンドのパフォーマンスはAコース、Bコース共に設定来で上昇しています。2024年9月の設定以降、2025年はトランプ米政権による関税政策に対する懸念から下落する場面もありましたが、その後は、米国景気や企業業績の底堅さ、AI関連投資の拡大などを背景に市場は回復し、ファンドも情報技術や資本財・サービスセクター内の一部銘柄を中心に上昇し、堅調に推移しました。

次ページより、ファンドが投資する外国投資法人（以下、投資対象ファンドといいます。）の運用会社であるブラックロックの運用チーム（以下、運用チーム）による足元の投資行動とその効果に加え、具体的な投資事例についてご紹介いたします。

基準価額（分配金再投資）の推移



期間：2024年9月30日（設定日）～2026年8月12日、日次

基準価額（分配金再投資）とは、当初設定時より課税前分配金を再投資したものと計算した価額であり、ファンドの収益率を測るためのものです。したがって、課税条件等によって受益者ごとに収益率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

投資環境の変化を踏まえたポートフォリオの調整

投資環境の変化に対応

近年の市場では、コロナ禍に伴う需給と行動変化の歪みの長期化、AI投資サイクルの顕在化、そして優良成長株のバリュエーション調整が重なり、ファンダメンタルズ重視のアクティブ運用にとって厳しい投資環境であったと考えています。ファンドは、長期にわたって優位性が継続すると考えられる「最高の銘柄」を長期保有することでリターンの最大化をねらいますが、急速に変化する足元の投資環境においては、将来の「最高の銘柄」も過去とは大きく変化することがあり、こうした変化を適切に捉え、柔軟に対応することも重要であると考えています。

銘柄入替とその効果

急速に変化する足元の投資環境の変化を踏まえ、投資対象ファンドでは「最高の銘柄」を長期保有することでリターンの最大化をねらいつつ、2025年以降段階的に銘柄の入替を実施してきました。具体的には、コロナ禍により一時的な需要の偏りや市場の歪みが生じた影響を受けていた、ラグジュアリーをはじめとする消費関連の景気敏感株を、2025年前半に全て売却しました。一方で、航空需要の正常化に伴い、長期間にわたる受注残や修理需要の拡大、強い価格決定力が見込まれる航空宇宙関連銘柄については、選別的に組入れを増やしています。これらの企業は、今後数年間にわたり安定した利益成長が期待できると考えています。また、AI分野では、成長性への確信の高まりを背景に関連銘柄への投資を拡大してきました。

右のグラフは、銘柄の入替を実施しなかった場合のポートフォリオに比べ、実際のポートフォリオのパフォーマンスが約30%向上したことを示しています。なお、見直しを実施しているものの、「構造的な優位性」「強力なマーケットポジション」「圧倒的な利益創出力」「卓越した経営陣」の4つの基準を満たす企業に投資を行なうという投資方針は一貫しています。

銘柄入替の概要



コロナ禍による一時的な需要増の恩恵を特に受けた銘柄を売却



高バリュエーション銘柄に留意しながら、魅力的な投資機会を積極的に追求



投資魅力度が高まった分野への銘柄入替



株価調整により投資魅力度が高まった銘柄や、業界環境の改善が期待される優良企業は継続保有

(出所) ブラックロック作成

銘柄入替によるパフォーマンス向上効果



期間：2025年1月2日～2026年6月30日、日次、米ドルベース
上記は実際のポートフォリオ①と、銘柄入替を実施しなかった場合のポートフォリオ②とのパフォーマンス差異を示しています。
ポートフォリオ①：投資対象ファンドのリターンを使用
ポートフォリオ②：投資対象ファンドが2024年12月末時点で保有していた各銘柄の株価（米ドルベース）を同時点における保有比率（固定）で加重平均して算出
(出所) ブラックロック作成

投資事例のご紹介

ファンドは、長期厳選投資を基本としつつ、市場環境に応じて柔軟に組入銘柄の見直しも行なっています。

ロールス・ロイス・ホールディングス

同社は英国を拠点とする航空機エンジンおよび防衛関連機器メーカーです。近年は防衛支出拡大の追い風に加え、CEO主導の経営改革や自社株買いの実施が評価され、株価は堅調に推移しています。

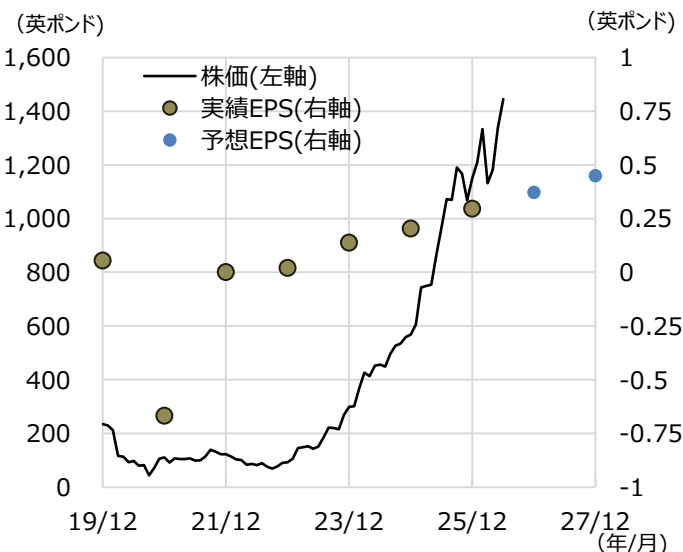
運用チームは、同社が唯一のエンジンサプライヤーである大型旅客機Airbus A350向けエンジンに注目しており、航空需要の回復や大型旅客機の買い替え需要拡大を背景に、高収益な保守・整備サービス事業の成長が期待できていると考えています。また、防衛事業に加え、AIデータセンター向け発電設備や小型原子炉など、中長期的な成長機会を有する点も魅力だと評価しています。さらに、長期契約に支えられた収益基盤と高い参入障壁を持つ事業モデルが、持続的な利益成長を支えていると考えています。

バーティブ・ホールディングス

同社は米国のデジタル・インフラ企業で、データセンター向けの電力管理・冷却設備の設計、製造、サービスを手掛けています。2026年はAI需要の拡大を背景に受注が大幅に増加しており、好調な業績と通期見通しの引き上げが株価の追い風となっています。また、S&P500指数への採用も市場から高く評価されました。

運用チームは、AIインフラ投資が依然として初期段階にあり、今後も強い需要が継続すると見えています。特に、同社がAIデータセンターの運営に不可欠な電力供給・冷却インフラを提供するリーディング企業である点に注目しています。AIの高度化に伴い、データセンターの電力消費量や発熱量は増加しており、電力管理システムや液冷技術への需要拡大が期待されます。こうした構造的な成長トレンドを背景に、同社は中長期的な成長が期待できる企業だと考えています。

ロールス・ロイス・ホールディングスの株価とEPS※

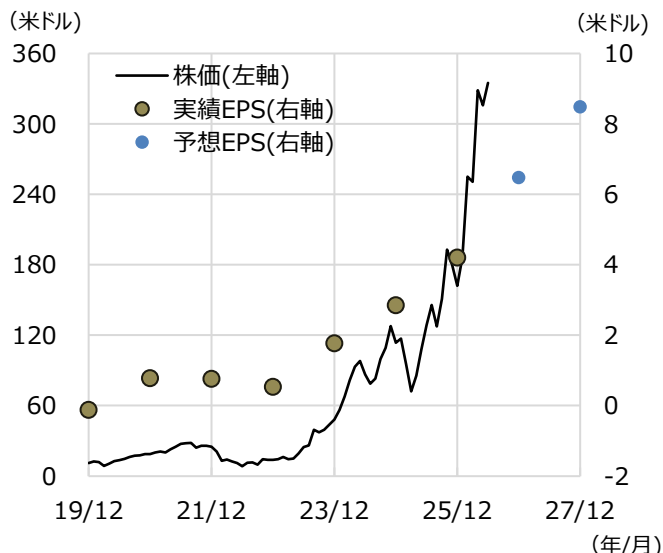


期間：2019年12月末～2027年12月末

株価は月次、実績/予想EPSは年次(2025年12月末までは実績、以降はブルームバーグ予想。)

(出所) ブルームバーグのデータを基に野村アセットマネジメント作成

バーティブ・ホールディングスの株価とEPS※



期間：2019年12月末～2027年12月末

株価は月次、実績/予想EPSは年次(2025年12月末までは実績、以降はブルームバーグ予想。)

(出所) ブルームバーグのデータを基に野村アセットマネジメント作成
※EPSは1株当たり純利益

「野村ブラックロック世界優良企業厳選ファンド」 Aコース（米ドル売り円買い）/Bコース（為替ヘッジなし）

【ファンドの特色】

- 信託財産の成長を目標に積極的な運用を行なうことを基本とします。
- 世界各国（新興国を含みます。）の株式（DR（預託証券）※1を含みます。）を実質的な主要投資対象※2とします。
※1 Depositary Receipt（預託証券）の略で、ある国の株式発行会社の株式を海外で流通させるために、その会社の株式を銀行などに預託し、その代替として海外で発行される証券をいいます。DRIは、株式と同様に金融商品取引所などで取引されます。
※2「実質的な主要投資対象」とは、外国投資法人や「野村マネー マザーファンド」を通じて投資する、主要な投資対象という意味です。
- ファンドは投資する外国投資法人において、米ドル売り円買いの為替取引を行なう「Aコース」と対円での為替ヘッジを行なわない「Bコース」から構成されています。
- 各々以下の外国投資法人である「ブラックロック・ファンズ I・ICAV - ブラックロック・グローバル・アンコンストレインド・エクイティ・ファンド」および国内投資信託「野村マネー マザーファンド」を投資対象とします。

ファンド名	投資対象とする外国投資法人の円建ての外国投資証券
Aコース (米ドル売り円買い※1)	ブラックロック・ファンズ I・ICAV - ブラックロック・グローバル・アンコンストレインド・エクイティ・ファンド- クラスXヘッジ(円建て)※2
Bコース (為替ヘッジなし)	ブラックロック・ファンズ I・ICAV - ブラックロック・グローバル・アンコンストレインド・エクイティ・ファンド- クラスX(円建て)

※1 Aコースにおける「米ドル売り円買い」とは、原則として純資産総額を米ドル換算した額とほぼ同額程度の米ドル売り円買いの為替取引を行なうことをいいます。

※2 当面の間、ブラックロック・ファンズ I・ICAV - ブラックロック・グローバル・アンコンストレインド・エクイティ・ファンド- クラスXヘッジ(円建て)の外国投資証券に投資を行ないますが、為替リスクの低減をより効率的に行なう事を目的として、同ファンドの投資対象クラスの変更を行なう場合があります。

- 通常の状態においては、「ブラックロック・ファンズ I・ICAV - ブラックロック・グローバル・アンコンストレインド・エクイティ・ファンド」への投資を中心とします※が、投資比率には特に制限は設けず、各証券の収益性および流動性ならびにファンドの資金動向等を勘案のうえ決定します。

※通常の状態においては、「ブラックロック・ファンズ I・ICAV - ブラックロック・グローバル・アンコンストレインド・エクイティ・ファンド」への投資比率は、概ね90%以上を目処とします。

- Aコースにおいては、当面の間、為替ヘッジは行ないません。ただし、投資対象クラスが変更となり外貨建てのクラスに投資する場合等においては、為替リスクの低減を目的とした為替ヘッジ取引を行なう場合があります。
- ファンドはファンド・オブ・ファンズ方式で運用します。
- 運用にあたっては、ブラックロック・ジャパン株式会社に、運用の指図に関する権限の一部を委託します。

■ 外国投資法人「ブラックロック・ファンズ I・ICAV - ブラックロック・グローバル・アンコンストレインド・エクイティ・ファンド」の主な投資方針について ■

- ・新興国を含む世界各国の企業の株式を主要取引対象とし、信託財産の長期的な成長を目標に運用を行なうことを基本とします。
- ・クラスXヘッジ(円建て)は、実質的な通貨配分にかかわらず、原則として純資産総額を米ドル換算した額とほぼ同額程度、米ドル売り円買いの為替取引を行なうことを基本とします。
- ・クラスX(円建て)は、原則として対円での為替ヘッジを目的とした為替取引を行ないません。

* 上記は2026年5月29日現在のものであり、今後変更となる場合があります。

- 「Aコース」「Bコース」間でスイッチングができます。
- 原則、毎年3月10日（休業日の場合は翌営業日）に分配を行ないます。
分配金額は、分配対象額の範囲内で、原則として基準価額水準等を勘案し、委託会社が決定します。

* 委託会社の判断により分配を行なわない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

「野村ブラックロック世界優良企業厳選ファンド」 Aコース（米ドル売り円買い）/Bコース（為替ヘッジなし）

【投資リスク】

各ファンドは、外国投資証券等への投資を通じて、株式等に実質的に投資する効果を有しますので、当該株式の価格下落や、当該株式の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替の変動により基準価額が下落することがあります。

したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。

※詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）の「投資リスク」をご覧ください。

【お申込メモ】

- 信託期間 無期限（2024年9月30日設定）
- 決算日および収益分配 年1回の決算時（原則、3月10日。休業日の場合は翌営業日）に分配の方針に基づき分配します。
- ご購入価額 ご購入申込日の翌営業日の基準価額
- ご購入単位 1万口以上1口単位（当初元本1口＝1円）または1万円以上1円単位（ご購入コースには、分配金を受取る一般コースと、分配金が再投資される自動けいぞく投資コースがあります。原則、ご購入後にご購入コースの変更はできません。）
※お取扱いコース、ご購入単位は販売会社によって異なる場合があります。
- ご換金価額 ご換金申込日の翌営業日の基準価額
- スイッチング 「Aコース」「Bコース」間でスイッチングが可能です。
※販売会社によっては、スイッチングのお取扱いを行わない場合があります。
- お申込不可日 販売会社の営業日であっても、申込日当日が下記のいずれかの休業日に該当する場合には、原則、ご購入、ご換金、スイッチングの各お申込みができません。
・ニューヨークの銀行 ・ロンドンの銀行 ・ダブリンの銀行
・ニューヨーク証券取引所 ・ロンドン証券取引所 ・ユーロネクスト・ダブリン
- 課税関係 個人の場合、原則として分配時の普通分配金ならびに換金時（スイッチングを含む）および償還時の譲渡益に対して課税されます。ただし、NISA（少額投資非課税制度）の適用対象ファンドにおいてNISAを利用した場合には課税されません。
「Aコース」はNISAの対象ではありません。
「Bコース」はNISAの「成長投資枠」の対象ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。
なお、税法が改正された場合などには、内容が変更になる場合があります。
詳しくは販売会社にお問い合わせください。

【当ファンドに係る費用】

（2026年8月現在）

◆ご購入時手数料	ご購入価額に3.3%（税抜3.0%）以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 ＜スイッチング時＞ 販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 ※詳しくは販売会社にご確認ください。
◆運用管理費用（信託報酬）	ファンドの純資産総額に年1.848%（税抜年1.68%）の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。
◆その他の費用・手数料	組入資産等の売買の際に発生する売買委託手数料、外貨建資産の保管等に要する費用（Aコースのみ）、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、ファンドに関する租税等がお客様の保有期間中、その都度かかります。 ※これらの費用等は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。
◆信託財産留保額 （ご換金時、スイッチングを含む）	ありません。

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。
※詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

<当資料について>

- 当資料は、ファンドに関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。
- 当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料中の記載事項は、全て当資料作成時以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。
- 当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。

<ご購入に際してのご留意事項>

- ファンドは、元金が保証されているものではありません。
- ファンドに生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。
- ファンドの分配金は、投資信託説明書（交付目論見書）記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。
- お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認ください。

NOMURA
野村證券

設定・運用は

NOMURA
野村アセットマネジメント

商 号：野村證券株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第142号
加入協会：日本証券業協会／一般社団法人資産運用業協会／
一般社団法人金融先物取引業協会／一般社団法人第二種金融商品取引業協会／
一般社団法人日本STO協会

商 号：野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第373号
加入協会：一般社団法人資産運用業協会／
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

ファンドの基準価額等についてのお問い合わせ先：野村アセットマネジメント株式会社

●サポートダイヤル ☎ 0120-753104 <受付時間> 営業日の午前9時～午後5時

●ホームページ

<https://www.nomura-am.co.jp/>

